レッスン：SPA/49

テーマ：シンボルの建造

SPA49/SE8/A12/29TH4/98

私の姉妹・兄弟達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主なる聖性に抱かれています。

以前のレッスンでは、人間のイデアを通じて降下した結果である魂のセルフ・エピグノシスは最内奥のセルフ・スピリットの特質を完全に現わしている、と述べました。生の現れとしての魂のセルフ・エピグノシスはまた素質的可能性のサイクルをも携えており、この素質的可能性のサイクルがこの現れに素質的可能性を与えます。それは神の黙想が成就されるためです。

ですから、魂のモナド・セルフに提供される素質的可能性のサイクルがあり、前に述べたように、このサイクルのなかに可能性のサイクルもあります。現在のパーソナリティーに与えられるこの二番目の素質的可能性のサイクルは、制限ある現れのなかに入るということです。言い換えれば、この現れは今や生の特質を表現しません。その理由は、前に述べたように、そうであることがモナド・セルフがその任務（神の黙想の結果である任務）を果たす唯一の方法だからです。

任務とは何でしょうか？任務とはモナド・セルフが自己実現を現すことです。そして意識が制限ある現れのなかに入ること（言い換えれば、生の特質を完全には表現しない）によってのみ、これが達成されるのです。なぜなら、生とは神であり、生はあらゆるところにあり、生は最大のなかにも最小のなかにもあります。また過去に多くのレッスンにおいて述べたように、神は一つですがそれは複数性（多様性）というステートのなかにあります。しかし、複数性のなかでもし一つのモナド・セルフを取り上げるとすると、このモナド・セルフを全体から切り離すことはできません。言い換えれば、モナドもまた一つとしての神であり、勿論レッスンにおいてその理由を述べてきました。

それでは現在のパーソナリティーについて触れましょう。現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルがあります。しかし、このこの素質的可能性のサイクルのなかには、前に述べたように、無数の蓋然的可能性のサイクルがあります。なぜなら、現在のパーソナリティーがその本質に気づいていない時には、何の結果として自らを、セルフを現すでしょうか？経験の結果としてです。言い換えれば、思考・行動の結果としてセルフ、自らを表現し、この思考・行動は人間の経験と類似しており、気づきのレベルと類似しています。

現在のパーソナリティーは継続的に、様々な素質的可能性のサイクルを現します。なぜなら、気づきのレベルは常に変化し続け、私たちは決して静止することはなく、常に任務に向けて進み続けるからです。そして任務とは自己実現を現すことであり、私たちが絶対存在の多様性（複数性）のなかで他の全てのモナドとは異なったモナドであることを認識し、理解することです。

最初、私たち各人は時間・空間の意味のなかで異なった活動の結果として個人というものを現します。私たちはマリア、コスタス、エレーニ等を知っています。なぜなら、彼らは時間・空間の意味内でそれぞれ異なった活動をしており、その結果自分自身のパーソナリティーというものがあります。そして後の段階において自己実現を現すのは、この個人であることを通じてです。

魂の素質的可能性のサイクルがあり、現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルがあり、無数の蓋然的可能性のサイクルがあります。前回のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルのなかに、他のより小さな素質的可能性のサイクルがあり、大きなサイクルのなかにある小さな素質的可能性のサイクルはそれぞれ、マスターするためのステージ、段階なのです；何をマスターするのでしょう？生の何らかの特質の現れの原因となっている制限、限界をマスターすることです。

Page2

以前に話したように、最初の素質的可能性のサイクルはいわゆる本能的意識のセルフ・エピグノシスです。人間がこのサイクルにある間、その人はセルフを本能的に現します。ひとたびこのサイクルをマスターすると、自動的にあなたは次のサイクルにジャンプします。そして次のサイクルは潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスです。そして勿論、このサイクルのなかには様々なステージ、つまり段階があります。どれぐらいの数のステージがあるでしょうか？宇宙における人間の気づきと同じ数のステージがあります。

次のサイクルは意識的意識のセルフ・エピグノシスであり、その次は超意識的意識のセルフ・エピグノシスがあります。四つのサイクルがあります。しかし前回述べたように、時間を必要としないもう一つのサイクルがあります。それは時間・空間内のものではなく、形さえもありません。

ですから、現在のパーソナリティーの大きな素質的可能性のサイクルのなかには五つの素質的可能性のサイクルがあります。最初の二つのサイクルは現在のパーソナリティーの部屋のなかであり、それは実際四面ピラミッドの下にある現在のパーソナリティーの墓です。部屋は大きな四面ピラミッドの下の地中にあります。

ですから、最初の２つの素質的可能性のサイクルは部屋のなかであり、他の３つ、あるいは２＋１は地上にある大きな四面ピラミッドの中です。

それでは現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルという時、それらのサイクルは何を意味しているのでしょうか？それらは異なったイニシエーションを意味します。それらは現在のパーソナリティーの真のイニシエーションです。しかし、数年前に、他のイニシエーションがあると話しましたが、それは何に関するものでしょうか？14芒星に関するものです。当時述べたように、その星の各頂点は進化・成長のステーションを意味し、この14芒星は人間のイデアによって人間に提供されたものです。繰り返しますが、各ステーションは経験、学んだレッスンの結果として人間が獲得した達成なのです。

さて、部屋の中、小さな四面ピラミッドの中、三面ピラミッドの中、小さな一面ピラミッドの中、五面ピラミッド、その他の中で行うワークとこれら14のステーションとの関係は何でしょうか？その関係とは？確かに関係があり、それについてはずっと後になって話します。今の所は五つの主なイニシエーションにフォーカスします。人間の進化に関して非常に大きな関係がありますが、ステーションは何か異なったものを意味しています。

さて、四面ピラミッドの下にある部屋に関して、現在のパーソナリティーはこの部屋の存在に気づき始める必要があります。この部屋を築いていくのは現在のパーソナリティー、探究者なのですが。築いていく？そうでしょうか？それら全てが存在するからといって、実際、あなたはこれら全てのピラミッド、それらの建物を築くのでしょうか？そうでしょうか？実際、そうではありません。なぜなら、それら全ては人間が前に進んでいくための助けなのです。その結果、人間が現在のパーソナリティーの自己実現に到達できるようになるために。これが今私たちが話していることです。現在のパーソナリティーであり、魂のセルフ・モナドではありません。

ですから、今私たちが扱っているのは助け、援助、現在のパーソナリティーの自己実現を助けようとするものです。それらの援助はどこにあるのでしょうか？私たちがそれらを創造するのでしょうか？答えはノーです。それらは魂のセルフ・エピグノシスの素質的可能性のサイクルによって私たちに与えられます。それらは現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルに対して与えられます。それらの援助は法則、創造の不動の法則のなかにあります。最初、それらは原型、イデア、法則、原因のなかにあります。

ですから、誰かが例えば部屋、あるいは小さな四面ピラミッド、あるいは他のいかなる形のピラミッドなどをイメージしようと試みる時、実際何が生じるかと言うと、あなたはそれらのシンボルに、あなたの現れと類似したマインドのバイブレーションを着せるのです。しかし、生じていることはそれだけでしょうか？答えはノーです。同時に、四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッドあるいは部屋、さらには色をあなたがどのように理解しているか、その理解の結果としてもう一つのシンボルを創造することになります。

Page3

ですから、実際には二つの部屋、二つの四面ピラミッド、その他があります。そして現在のパーソナリティーが気づきのレベルを上昇させようとしている間、何が生じていると思いますか？そこで生じていることとは、二つを一つにすること、そしてさらにあなたが着せるマインドのバイブレーション、理想のシンボルがより純粋になっていきます。

部屋について述べ、部屋の四つの壁があり、それぞれの壁から部屋の内側に向けて特定の輝く光が放射されています。正面の壁からは白の光、右の壁からは赤の光、背後の壁からは水色の光、左の壁からはウルトラ・バイオレットの光が輝いています。四つの輝きです。実際、初めはあなた方はそれらの輝きを見ることはできません。なぜなら、あなたは部屋の存在にすら気づかないからです。それを視覚化しようと試みますが、実際にはそれが見えません。確かにそれを見ようする意志はありますが、実際には、着せているもの、あるいは創造しているものを見ることができるように努力すべきです。そのための努力をすべきであり、さもないと実際には全てはアイディアに留まり、何の役にも立たないでしょう。現在のパーソナリティーは何であれそれが行っていること…つまりそれら全てのシンボル、創造したもの、あるいは先に述べたようにそれらのシンボルがまとっているものを見ることができるべきです。徐々に少しずつ感じられるようになるべきです。

さて、小さな四面ピラミッドについては、状況はより良いと思います。あなた方は最初から四つの面からの輝きを見ることができますが、しかしそれだけでは十分ではありません。十分ではないのです。それぞれの面が意味しているものにある程度同調できるように努力すべきです。以前のレッスンで述べたように、各サイドはアークエンジェルのオーダーを意味しています。しかし、勿論、初めは特定のアークエンジェルのオーダーに同調することを要求しているわけではありませんが、現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルに同調するようにします。言い換えれば、一つのミカエル、一つのガブリエル、一つのラファエル、一つのウリエルです。小さな四面ピラミッドのなかで、これをするようにしてください。勿論、そのためには時間とたくさんのワークが必要であり、真理の探究者はたくさんの努力が求められます。

ですから、部屋があり、小さな四面ピラミッドがあり、その四面ピラミッドのなかには三面ピラミッドがあります。三面ピラミッドは前に述べたように生の三つの主な特質、つまり絶対英知、絶対善、絶対パワーを示しています。しかし、この小さな三面ピラミッドはこの特定の素質的可能性のサイクルのために生から素質的可能性として与えられたものであり、それ以外のなにものでもありません。ですから、三面ピラミッドがありますが、言い換えればそれは三つの面のイニシエーションが完了するための素質的的可能性のサイクルを示しています。そして次のシンボル、次のピラミッドは五面ピラミッドであり、それは五感、および五つの超感覚を意味し、五つの超感覚こそが現在のパーソナリティーの本来の感覚なのです。（＊本来の状態でないのは）それは無知の結果ではなく、人間が地にフォーカス（実際に地中にいるのですが）している結果であり、人間は自分自身の影に魅惑されているのです。

ですから、五面ピラミッド、五つの面、五感、五つの超感覚があります。しかし、人間が本能的意識のセルフ・エピグノシスを現している間は、人間は五面ピラミッドのどの面にもフォーカスしておらず；彼は地面にフォーカスしているのです。しかし、人間が素質的可能性の次のサイクルに入ると、潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスのサイクルに入ると、人間はこのピラミッドの各サイドのベース、下部にいるようになります。

さて、各サイドの色はどうでしょうか？色は将来あなた方に与えられますが、実際には各サイドの色はピラミッドの底面の近くにしかありません。なぜなら、気づきの上昇の結果として、人間は…最初はそうとは認識しないで…超感覚を使うというより高い能力を現すようになります。繰り返しますが、そうと気づかずにです。その結果、このピラミッドに自動的な回転が生じます。なぜなら、もし私たちが生の特質をより多く現すようになると、生にはいかなる制限もないからです。以前、生はあらゆるところに存在すると述べました。私たちは生の能力を制限することはできません。そして私たちが少しずつより高いレベルの気づきを現すにつれて、私たちは自然な本来の特質をより多く現すようになります。つまり、意識が徐々に拡大し、同時に五面ピラミッドと三面ピラミッドが回転します。その結果一面ピラミッド、つまり円錐を現すようになります。

Page4

ですから、五面ピラミッドがあり、それを回転させると一面ピラミッドの現れ（創造とはあえて言いませんが）となります。勿論、最初は一面ピラミッドは完全ではありません。完全なのは底面の極近くだけです。創造に関して言えば、完全であるのは不動の法則内における素質的可能性のサイクルの中にあるものです。さて今、私たちは現在のパーソナリティーが創造しているものだけに関して述べています。言い換えれば、現在のパーソナリティーによるそれらのシンボルの理解です。ですから、回転は気づきの上昇の結果です。もし私たちが静止していれば回転はありえないでしょう。特に２番目の素質的可能性のサイクルに入ったばかりの時には。

ですから、それらのシンボルは私たちに与えられています。それらのシンボルは特定のパーソナリティーによって創造され、個人の進化として与えられた、というものではありません。そうではありません。誰であれ提供する人は、それらが創造の不動の法則のなかで用意ができているのを知ります。どのようにして誰かがそれらのリアリティーに到達できるのかは、全く別問題です。すでに古代から私たちはそれらのシンボルを見ていました…今ではモニュメント、遺跡として。人間がいかにしてそれらの助けにアプローチしたかは、また全くの別問題です。それらはそれらの時代における気づきのレベルによるものです。

古代の人々がどのようにしてそれらのシンボルを知ったのでしょうか？それらが内側から流出して来たのです。今の私たちから見ると、残念なことに…勿論私たち自身の見解からすれば…それらはサイコノエティカルな進化・成長のためではなくてパワーと能力を現すために使用されたのです。さらにまた、彼らはそれらのモニュメント、それらの建築物が現在のパーソナリティーがその特定のパーソナリティーとして永遠のなかに留まる助けとなる、という幻想を抱いていました。

詳細についてはこれからも述べていきましょう。なぜなら、与えられたものは何であれ探究者が達成すべきものだからです。それゆえに、あなた方はそれらのシンボル、三面ピラミッドおよび五面ピラミッドを回転させたのです。何を期待されているかを、あなた方が知るためにです。

**質問**

**質問**：ピラミッドの頂上ですが（つまり次のレベルに行くための）、それは同じ色となるのでしょうか？

**答え**：それは実際には存在しません。重要なのは人間の意識です。頂上の部分、それはサイクルをマスターすることに「成功した」人の意識です。サイクル、つまり四面ピラミッド内の三面ピラミッドの高さによって定義されるサイクルであり、三面ピラミッドの頂点はこのレベルにあり、部屋から突きだしてはいません。そして部屋のなかにある四面ピラミッドがあり、部屋の真ん中には五芒星を身にまとっている人間が立っています。ですから、頂点、およびピラミッドの頂上のある部分は実際には人間の意識なのです。

三面ピラミッドの頂点は部屋の一番上まで届いていますが、外には突き出てはいないことに注意してください。完成したときの四面ピラミッドと同じ高さではありませんが、部屋のなかにある四面ピラミッドの高さと同じです。言い換えれば、頂点のない四面ピラミッドの高さ次第です。

また、五面ピラミッド、および三面ピラミッドを回転されると、共通の円形の底面ができると述べました。また五面ピラミッドに関しては、四番目のイニシエーションが完了するまでは正しい高さではない、と述べました；もし私たちが五面ピラミッドの側面を内側に折ると、完全な五芒星となるでしょう。

**質問**：原型というものがあり、気づきを高める旅とはその原型を認識するべく努力することではないかと思うのですが…。

**答え**：初めは、何であれあなたが創造しているものと共にワークします、つまり例えばあなたが創造しているシンボルと共に。徐々に少しずつ、気づかないうちに、あなたの創造は原型のなかに入っていくでしょう。たとえ自分で創造しているものを見ることができなくても、それを創造するようにするのです；あなたが現しているマインドのバイブレーションと似通った原型を身にまとうのですが、それらのバイブレーションはいつも変化します、特に現在のパーソナリティーが気づきの上昇のために一生懸命に努力している時には。より良いセルフ、さらに良いセルフを現し、より高いレベルの気づきを現し、生それ自体の特質をもっともっと現すこと、それだけが重要な事であり、テクニカルなメソッドを利用したパワーとか能力は問題外であり、役に立ちません。それらは人間を停止させてしまいます。とても重要なこと、それは生の本質にマッチするものを人間が現すことです。

　生にはいかなる限界もありません、生はすべてであり、生は最大のなかにも最小の中にもあり、私たち一人一人は実際生それ自体の結果です。現在のパーソナリティーを活性化する生のスパークに到達するようにすべきです。しかし、残念なことに、このような幼児の状態では、現在のパーソナリティーはそのリアリティーに気づいていないのです。

いずれにしても一生懸命に努力することが必要です。特に、エーテルの特質をマスターするためのワーク、視覚化（ビジュアライゼーション、イメージ化）のためのワークです。なぜなら、今晩述べたように、部屋がどのようであるか、四面ピラミッドはどのようであるかを考え、イメージしても、それがあなたにとって触れることができるほど具体的になっていなければ、あまり役立たないからです。あなたがイメージするものは時にはエーテルのバイブレーションのなかで実際に存在する必要があります。意味するものが、実際にそこに存在するように。そしてあなたが前に進んでいけば、それは触れることのできる堅固なものとなるでしょう。五面ピラミッド内でのワークはとても難しいものです、なぜなら回転させると共に、他のことも同時にする必要があるからですが、それはかなり後になってのことです。

理想的サイズの五面ピラミッドがあり、それは言い換えれば素質的可能性のサイクルのマスターを意味し、それは四番目のイニシエーションをマスターすることです。今のところは高さは適切なものではありません。部屋の高さは素質的可能性のサイクルの高さによって決まります。もし現在のパーソナリティーが素質的可能性のそのサイクルをマスターすることになれば、現在のパーソナリティーはその部屋を背後にして去ることができるでしょう。また、三面ピラミッドはその特定のイニシエーション、何であれ素質的可能性の大きなサイクルが定義するものを提供し、それはより小さな素質的可能性のサイクル、つまり特定のイニシエーションによって達成されます。もしそれが外に突き出ることになれば、さらにもっと提供されます。十分でなければ、現在のパーソナリティーはその部屋を出ることはできず、それゆえに頂上は部屋の天井に触れているのです。

**質問**：以前に部屋の壁の色については聞きましたが、天井と床の色についてあなたが述べたかどうかは覚えていないのですが。ただ四面の壁を視覚化するだけで良いのでしょうか？

**答え**：そうです。しかし、あなたは六つの面でできた中にいる、つまり垂直な四つの面と二つの水平な面でできた中…それが部屋ですが…にいる、ということを知っています。

SPA49/SE8/A12/29/08